

潜龍

～自分の将来に手を抜くな～

1組担任 柿並 真二

私が初めて工業高校3年生の担任をしていた2008年、まさに就職試験が始まる、その前日の9月15日、アメリカの投資銀行リーマン・ブラザーズ・ホールディングスが経営破綻しました。これを契機として広がった世界的な株価下落、金融危機、同時不況（いわゆるリーマンショック）は、その時の生徒たちの就職にも大きく影響しました。会社が経営困難を理由に、急遽求人を取り消すという前代未聞の事態に驚愕したことを今でも鮮明に覚えています。

それ以降3年の担任を3回経験し、その都度就職指導に関わりましたが、近年の半分程度しか求人はなく、生徒たちが選ぶことのできる会社があまりにも少ないという状況でした。また、一社当たりの採用人数そのものも今の半分以下程度に抑えられており、就職試験の競争率も非常に高く、不調に終わる生徒も多かったと記憶しています。

今から考えると、その当時の厳しい状況下において、生徒も教師も保護者も、ある意味背水の陣で臨んでいたように思います。面談、就職試験対策、面接練習などの場面で、必死になって取り組んでいた生徒たちの顔が目に浮かびます。自分の人生を左右する大きな勝負にひたむきに向かっている彼らと共に過ごした日々は、大変だったり苦しかったりしたけれど、私にとっても充実した時間だったと思います。

昨年度本校の求人数は700社を超え、企業によっては複数の求人をくれたところもありました。おそらく今年度もその状況に近いものと予想されます。

そのせいなのか、私にはあなた方の就職に対する意識に、今一つ真剣さが欠けているように思えてなりません。求人数の多さが自分の人生の選択を安易なものにしているのではないかと危惧しています。

確かに求人が多いことは学校としては喜ばしいことですが、それとあなた方一人ひとりの適切な進路決定は必ずしも連動しません。むしろ、数ある企業の中から自分に適したところを選び出すには、一層の努力が求められます。あなた方はこのことを理解し、謙虚に進路決定に取り組んでいるでしょうか。

あなたの人生はあなたがつくるもの。求人票を調べる労を惜しむようでは、誰も本気であなたの就職の手助けはできません。天は自ら助くるものを助く。自分の将来に手を抜かないでほしいと切に願います。

生徒総会

5月1日（水）の5．6時間目に体育館にて生徒総会が行われました。

生徒会執行部、会計監査の生徒が会を進行し令和5年度の行事報告、会計報告、令和6年度の行事計画、予算案すべて出席生徒の承認が得られ、総会を終了しました。



～お知らせ～

6月19日（水）のLHRの時間を使い、面接指導（入室指導・所作）を行います。

入室から退室までのマナーについて細かなポイントですが担当の先生が指導します。前日までに必ず自分の班と実施教室を確認しておきましょう。

～今後の予定～

6月

3日（月）	キャンパスカウンセリングAM
12日（水）	地域合同防災訓練（午前授業・午後防災訓練）
13日（木）	歯科検診AM
19日（水）	眼科検診
20日（木）	耳鼻科検診
24日（月）	キャンパスカウンセリングAM
26日（水）	月曜日の授業
27日（木）	期末考査（～7月3日（水））
29日（土）	クラブ振興会プレゼンテーション